

第十回 全国高校生付け句コンクール

付けてみませんか



前句

ふたりになって胸がどきどき／ドリー

前句(まえく)の七七句をよく読んで、思い浮かぶことを五七五句にして付けてみませんか。さあ、どんな場面ができるかな。

例1 ふたりになって胸がどきどき

今日ヒマと聞いたらヒマと言った君

やっこ

恋句歓迎。どきどきする相手はどんな人？服装、髪型などを書くのもリアル。もちろん自分の想いも。付け句は経験だけでなく想像でもOKです。二句で小説やドラマの場面を作りましょう。

例2 ふたりになって胸がどきどき

面接官ぺらりとめくる内申書

のりぼん

恋じやない動悸もありますよね。学校、家庭、地域社会などでのひとこまを。いま激動の世の中をとりこんだ時事句にも挑戦！

例3 ふたりになって胸がどきどき

打明ける僕の故郷はバルタン星

さわだ

登場人物もお好きなように。憧れのスポーツ選手やミュージシャン、政治家、科学者、宇宙人、妖怪！アイデア勝負です。

例4 ふたりになって胸がどきどき

ココ椰子を風が揺らして碧い海

けい

ふたりのいる場所はどこ？背景を描くだけで物語ができます。鳥、魚、虫、花など自然もとりたいれ、季語も使って。詩人は抽象世界に飛翔して。さあ、脳と心の体操、がんばれー！

応募用紙

(ふたりになって胸がどきどき ドリー)

付け句 (五七五句)

作者名 (本名)

ペンネーム

※七文字以内

学校名

学校

学年

組

先生のお名前

電話 (個人応募の場合)

住所 (個人応募の場合)

1 付け句とは？
誰かの句に誰かが句を付ける！

★日本の伝統文芸の連句 (俳諧連歌) は、誰かの句に誰かが付けるコミュニケーション・ション文芸です。原則として五七五句 (長句) に七七句 (短句) を、七七句には五七五句を付けます。

★私たちの日々の暮らしの中にある人生のおもしろさ、かなしさ、感動を句にして共に語り合いましょう。

★今年で二十二年目を迎える中日新聞連載『付けてみませんか』 (矢崎藍桜花学園大学客員教授) は前句を出題して読者の付け句を楽しむコラムです。このコラムとタイアップして、第十回全国高校生付け句コンクールを行います。ぜひ楽しみながら挑戦してみてください。

2 付け句の原則

★今回の付け句は五七五句です。五七・五は声を出したときの音数です。

写真 しやしん (3音)
先生 せんせい (4音)
さつきのしらせ (7音)
プラットホーム (7音)

★前句とワンセットで読みますから、原則として前句と同じ言葉 (ふたり胸・どきどき) を重ねないように。

3 賞

- ★特賞 (十句) 賞状と 図書カード五千円分
- ★秀逸 (十六句) 賞状と 図書カード五千円分
- ★入選・優 (五十句) 賞状
- ★入選 (百句) 賞状

★上の応募用紙一枚に三句まで書けます。
★本名は必ず書いてね。
ペンネームもオケーです。

